

創造 おおいた

Oita Prefectural Organization
for Industry Creation

中小企業の元気創造！

「挑戦」「創造」「継続・伴走」
公益財団法人大分県産業創造機構

Creation Oita

NO.247

2021.11

トップインタビュー

Top Interview

株式会社大川技研

代表取締役 北川 大滋 氏



企業紹介

Company Profile

有限会社工藤旅館

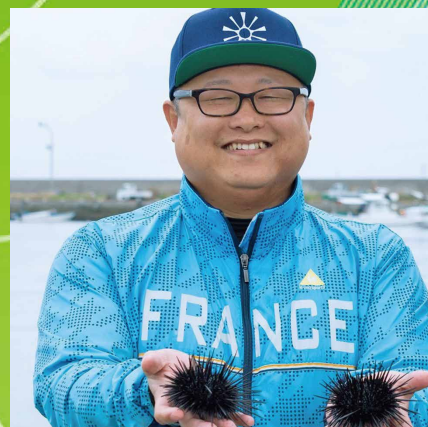
代表取締役 工藤 萌緒 氏



先端技術で大分の未来を創る

株式会社大分うにファーム

代表取締役 栗林 正秀 氏



明日のおおいた	2
株式会社三井住友銀行 大分支店 支店長 桑山 上 氏	
トピックインタビュー	3
株式会社大川技研 代表取締役 北川 大滋 氏	
企業紹介	6
有限会社工藤旅館 代表取締役 工藤 萌緒 氏	
先端技術で大分の未来を創る	8
株式会社大分うにファーム 代表取締役 栗林 正秀 氏	
スタートアップセンター	10
「おおいた起業家事情」 配食のふれ愛大分南店	
大分県よろず支援拠点	11
支援事例1 ゆめカンパニー	
支援事例2 株式会社マルナカフーズ	
TOPICS1	12
◆大分県広報 ◆～大分県立図書館～ 今月の新着図書	
TOPICS2	13
経営革新計画承認企業の紹介 ◆株式会社ローマ ◆有限会社岩見商事	
TOPICS3	14
◆下請取引適正化推進月間	
(広告)	
株式会社シャーロック	15
株式会社HAB&Co. 大分県県民生活・男女共同参画課 (大分県消費生活・男女共同参画プラザ)	16



公益財団法人 大分県産業創造機構

〒870-0037 大分市東春日町17番20号
ソフトパークセンタービル
TEL.097-533-0220 FAX.097-538-8407
E-mail oric24@columbus.or.jp
http://www.columbus.or.jp



明日のおおいた

存在価値を 発揮していくために



株式会社三井住友銀行 大分支店

くわやま のほる
支店長 桑山 上 氏

昨年の4月に新型コロナウイルス対応のため一回目の緊急事態宣言が発令される厳しい状況の中、初任の拠点長として大分に赴任しました。大分市内にビジネスを含めて訪れるのは福岡勤務時代に訪れて以来8年振りでしたが、当時とは大分駅周辺は様変わりをしており、アミュプラザができ、閉館されたパルコの跡地は「祝祭の広場」に変わっていました。随分都会的な街へと変貌を遂げ、非常に驚いたのと同時に当地での任務をしっかりと行っていきたく強く思いました。

拠点長としてまず取り掛かったことは拠点の方針を立てることでした。幸いなことに首都圏からの異動であり、着任後の2週間は自主的な隔離を行う必要もあつたことから、内勤でじっくり拠点方針を考える時間がありました。本店営業第11部時代に通信業界の企業を担当させていただいたこともあって、「5G」という言葉をキーワードにGをGrowth（成長）という言葉に置き換え、職員各自が5つの成長を意識しながら、業務にあたることを拠点の方針として伝えました。5Growth、①お客様の成長、②地域の成長、③職員の成長、④拠点の成長、⑤銀行の成長を常に意識しながら、優先順位は①から⑤の順番でしっかりと業務にあたることを私含め、拠点全体の職員に意識づけしました。特に①お客様の成長、②地域の成長については、我々メガバンクが地域の皆様にどのような価値を提供し、真の意味で役に立っていけるかを常に考えるべきものであり、特にこの点については他の銀行にはない商品、サービス、情報をしっかりと地域の皆様に提供し、それぞれの課題にしっかりと向き合っていくことだと常に念頭に置いて業務にあたっております。

弊行大分拠点は法人担当と個人担当と拠点内に二つの部門が存在し、それぞれの部署でお客様への営業活動を行っています。個人のお客様に対しては従来の資産運用やローン以外に遺言や遺産整理といったご相続に関するサービスを他行と差別化可能なサービスとして取り組んでいますし、キャッシュレスやアプリの利用などのデジタル化の推進も積極的に行っています。法人のお客様については従来のご預金、お借入、国内為替、外国為替等のお取引に加えて、事業承継やデジタルトランスフォーメーション（DX）、最近ではサステナビリティビジネス（SDGs、ESG）等の旬な情報、商品やサービスの提供を他行との差別化が図れるものとして積極的にご案内しています。大分県の皆様にとって存在感をしっかりと発揮できるように努めて参ります。

最後に大分に赴任し1年半強となりますが、趣味でもあり、健康維持のためゴルフに積極的に取り組んで参りました。大分県全域を担当していることから、県内全てのゴルフ場でプレーすることを目標として無事達成することができました。今後はスコアアップを目標に頑張っていきたいと考えております。

プロフィール

生まれ／1968年 愛知県稲沢市 現在 大分市在住

《学歴》1992年3月 名古屋大学経済学部卒

《経歴》1992年4月 株式会社さくら銀行（現 株式会社三井住友銀行）入行
2012年1月 福岡法人営業部 次長
2014年4月 本店営業第十一部 次長
2019年4月 埼玉法人営業部 川越法人営業所長
2020年4月 大分法人営業部長・支店長

株式会社大川技研



非破壊検査から
製缶、防錆、機械設置まで、
一貫体制で地場プラント設備の
安全確保に貢献

代表取締役 **北川 大滋** 氏

超音波や放射線などを利用して対象物を壊さずに検査する非破壊検査の需要は、年を追う毎に高まっている。各種プラント設備や道路、橋梁などのインフラ設備の長寿命化はもちろん、規模が拡大する一方の自然災害に対処するための安全確保は喫緊の課題ともいえ、そこで非破壊検査が果たす役割は大きい。九州内でも上位の工業製品の出荷額を誇る大分県においては、その重要度の高まりは言及するまでもない。大分を拠点に業容を拡大してきた株式会社大川技研の北川大滋社長に、今日に至るまでの事業戦略と今後の展望を聞いてきた。

きたがわ たいじ
北川 大滋 氏

■略歴 株式会社大川技研 代表取締役。1962年、大分市生まれ。1983年、東京都立工科短期大学卒業後、日本特殊技術株式会社（神奈川県）へ入社。1989年、個人事業主として独立。1990年、有限会社大川技研を設立し、代表取締役就任。1999年、株式会社へ組織変更。現在に至る。

■ プラント、インフラ設備等を 総合力で守り抜く

——御社の中核事業である非破壊検査ですが、以前と比較して一般的に間かれる業種になってきたように感じます。

北川 私が就職した当時はまだ珍しい存在で、「文字どおり対象物を壊さずに検査すること」「超音波や放射線を利用してプラントや構造物の劣化や損傷を見つけて事故を未然に防ぐ技術」といった具合に、非破壊検査そのものを説明するにも難しかった時代。最近ようやく認知されてきたのかなと思います。

——業界のパイオニア的存在の日本特殊技術株式会社（現・日本工業検査株式会社）に従事されていたんですね。

北川 当時は京浜、京葉のプラントで欠陥箇所を探す業務を任されていたのですが、大分にも営業所があり、昭和電工の検査業務を引き継ぐことで独立の機会をいただきました。まだ地方に本社を置いている検査会社がなかった時代だったので、重宝されました。その後、新たな販路を拡大しようと、3年にわたる営業を続けた結果、四国電力の水力発電設備検査の契約を獲得できました。従来はどちらのプラントもメーカー主導による検査体制が主流で、たとえばまだ交換の時期が到来していなくとも新規設備の導入を勧められるケースもありました。そこで当社としては科学的根拠のある客観的なデータを基にした運用に切り替えるよう提案した点が認められ、契



2020年8月に新築したばかりの本社社屋

約に結びついたのです。現在は火力発電所の検査も請け負っており、これら実績が認められ九州電力でも水力発電所の非破壊検査業務を請け負うようになりました。

——国内各地に拠点が設けられるまでに業容は拡大しており、今日まで順調に業績を伸ばしていますね。

北川 拠点としては地元大分では昭和電工、ENEOSの構内に出張所を設けており、県外では香川県に四国営業所の他、大阪営業所、延岡出張所があります。業績については近年急拡大したわけではなく、なによりも信頼と実績が重視される業界であり、設立以来31年の歳月をかけて少しずつですが、確実に積み上げてきました。

——非破壊検査以外の事業も手がけていますね。

北川 現在稼働している国内の主なプラント設備は高度成長期に建設され、50年以上経過したものが多くあります。老朽化によって設備の劣化が進み、万一事故が発生した場合は人的被害や経済損失、環境破壊などの恐れがあります。老朽化の懸念はプラント設備だけでなく、橋梁やトンネル、水道管やガス管など社会インフラにまで幅広く及んでいます。そうした設備に対して、リスクを担保しながら効率的に経済的にそして安全に保守管理していくためには、壊れる前に隠れた損傷を正確に検出し、適切に管理しコントロールしていく必要があります。私共は、非破壊検査による設備診断、防食塗装による劣化予防、そして製缶・管工事・機器据付などによる補修や更新を手掛け、お客様の設備の安全安定操業を支えるお手伝いをしています。

——検査だけでなく一連の事業をワンストップで受注できるようにしたのですね。

北川 たとえば非破壊検査の結果から、どこがどの程度悪いのか、その原因は何かを検証して設備を取り換える

か補修するのかを判断します。そのためには、豊富な知識と経験を持った非破壊検査技術者による正確な情報収集が必要です。そして取り換える場合は性能や経済性、作業性を考慮し熟練の職人が高い寸法精度で製缶を行い、その後工場に併設されたプラストブースにて下地処理を行い、使用環境に合わせて最適な防食システムを設計しブースにて塗装します。完成した製品は機器設置部門が重機や治具を駆使して入り組んだ設備の中に素早く正確に据え付けます。病院でたとえれば、検査部門で「診察」し製缶部門が「再生」させ防錆部門で「予防」を行い機械設置部門で「手術」を施すといった具合に、一貫した受注を行えるようになっています。これが他社にはない強みであり各部門のエキスパートによる連携した事業展開が可能になっており、取引先への付加価値提供につながっています。

■ 研究開発部門の設置により 他社との差別化を図る

——特殊な事業領域であり、御社独自の技術や開発製品も多数有しているのでは？

北川 プラント設備はとにかく種類が多く、様々な形状、大きさ、材質のものがあります。また、現場の作業環境も高所、狭所、暗所、高温、低温など様々です。設備ごとに制約があり、調べたい内容が違うので購入した検査装置をそのまま使用するだけでは対応できないことが多くあります。例えば、配管の減肉調査において板厚の分布を知りたいというニーズがあります。一方、プラント内では高所に配管が設置されていることが多く、足場仮設をせずに、経済的に高所作業を実施したいというニーズがあります。このようなニーズに対応するため、自走式RFスキャンという装置を開発しました。これは超音波素子を64個組み込んだセンサーユニットを使用して連続的に板厚測定を行い、約50mm幅の範囲をリアルタイムでマッピングして画面表示するというもので、最小



側面を自走測定する独自のRFスキャンシステムを開発



多種多様の技術で行われる非破壊検査

1mm×0.8mmという緻密な測定ピッチで小さな局部減肉も見逃しません。自走ユニットは強力なネオジウム磁石を車輪部に採用しており、壁面に吸い着いて、垂直走行はもちろん仰向けの姿勢でも走行できます。この自走式RFスキャンにより、高所での測定に必要な足場工事を大幅に削減することができ、さらに検査員の安全性も向上しました。

——あらゆる場面での測定を可能にしたシステムですね。

北川 RFスキャンは一つの手法に過ぎません。検査手法にはそれぞれ特徴があって出来ること、出来ないことがあります。幅広く多種多様なニーズにきめ細かく対応するには多くの手法アイテムが必要となります。ですから検査員は数多くの検査手法に精通しなければなりませんし、研究開発室では案件ごとに最適な手法を提供するため、システム開発やカスタマイズを続けなければなりません。さらに技術の進歩にともないニーズも高度化していくことは確実ですので、AIやIoTなどのデジタル技術に加え、ドローンやロボット技術など最先端技術も導入し今までに無い安全でかつ品質と生産性の向上を目指した技術開発体制を整え、プラント設備の保全改革を進めていくように努めています。

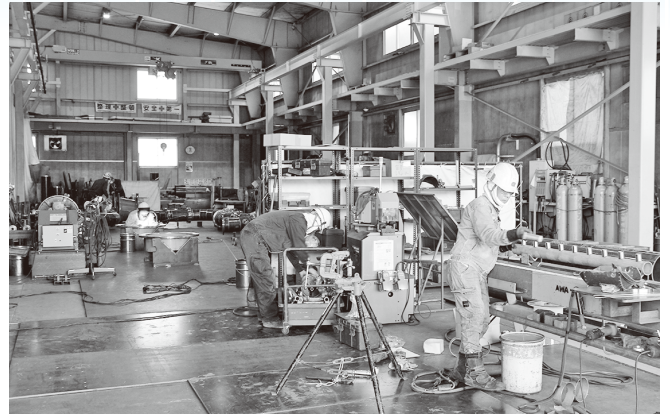
■ 人材育成に力を入れ、究極の技術集団を目指す

——人材育成はどのように行っているのですか。

北川 非破壊検査業は資格がないと務まらないので、研修センターを設置して資格取得のための実技講習を行っています。検査以外の部門も技能士や施工管理技士の国家資格を取得するための通信教育や外部講師の活用も含めて社員の技量アップ体制を充実させており、先輩社員も率先して指導を行なっています。

——現場を熟知した先輩社員は頼もしい存在ですね。

北川 OJTに関しては、難しい時代になっています。昔のように「背中を見て覚える」という職人気質の多い業界ではありますが、現在はこのスタイルが通用するもの



防錆、製缶作業を行う三川工場

ではありません。しかし現場でしか学べないことはたくさんあり、マンツーマンでの子弟制度を取り入れながら人材育成にのぞんでいます。先輩技術者に同行して補助作業を行い、そこから必要な知識・技能・資格を習得し、数年後には補助員から副主任技術員にランクアップさせていくのが基本的な流れ。この業界に限らずベテラン技術者がどんどん現場から居なくなっている状況であり、技術継承をするための土壌づくりは最重要課題と考えています。

——今後の事業展開についてお聞かせください。

北川 非破壊検査にはじまり、手がける事業も順次広がってきましたが、もっと多角的なアプローチをして、いずれはプラントをすべて作れるぐらいの人材を有する技術集団にしていきたいと考えます。病院に例えれば総合医療病院です。地場のプラントは地場の企業と連携していくことが理想であり、同業者同士のネットワーク力の強化も必要です。いわば地元のプラントを地産地消で守っていく体制づくりといえるでしょうか。現実的には難しい側面もありますが、当社としては人材育成にもっと力を入れ、自らの成長を社員が確認できる「学びの場」を創出できる企業になりたいと考えます。

企業データ

会社名	株式会社大川技研
代表者	代表取締役 北川 大滋
所在地	本社 大分市鶴崎1805番地の1 TEL 097-523-3888 研修センター、昭和電工出張所、ENEOS出張所、三川工場、広内作業場、四国営業所、大阪営業所、延岡出張所
設立	1990年(平成2年)8月
資本金	1,000万円
従業員数	99名
事業内容	非破壊検査全般、防錆、製缶、機器設置、関連技術・機器の研究開発
URL	http://www.ookawagiken.com/

企業紹介

大分駅前で約80年
お客さまから喜ばれる宿に

有限会社工藤旅館

ともお
代表取締役 工藤萌緒 氏

JR大分駅近くで『ホテルクドウ大分』と『HOTEL910』を経営する有限会社工藤旅館。初代が開いた『工藤旅館』から80年近くにわたって、アットホームなおもてなしで県内外のビジネス客や観光客を迎え、定宿としてひいきにする常連客も多い。温泉の採掘や斬新なリニューアルなど、常に新しいチャレンジを続け、コロナ禍でも稼働率を維持する老舗の魅力に迫る。

「ホテルはスタッフの年代が幅広いのが楽しい」という工藤萌緒社長

手料理でもてなす旅館から 宴会で人気のビジネスホテルへ

「工藤旅館は代々“お嫁さん”が受け継いできたんですよ」という工藤萌緒社長は、同社五代目の“お嫁さん”だ。10年前まで人気情報誌の編集者として活躍していた萌緒さんは、結婚後、義母のもとで宿泊業をゼロから学び、5年前に社長を受け継いだ。

工藤旅館の歴史は、代々のお嫁さん奮闘記でもある。大分駅前に木造2階建ての『工藤旅館』が誕生したのは、終戦直後の昭和20年（1945年）頃で、初代社長は工藤義彦氏の妻・文子さん。料理が上手で会社員の夫のお客を手料理でもてなし、遅くなれば家に泊めていたことから、自宅で旅館を始めた。宿泊よりも1階に設けた食堂の営業が中心で、やがて宴会も手がけるようになり、区画整理に伴って大分駅から徒歩5分の現在地に移転した。

その後、長男で銀行員の文義氏が二代目社長となり、昭和48年（1973年）に鉄筋7階建ての『ビジネスホテルクドウ』を開業。妻ミヤ子さんが女将として現場を任された。料理は苦手だが大の宴会好きだったミヤ子さんは、時代の風に乗れ、抜群の営業力を発揮して宴会や会合、スポーツ団体の宿泊客などを開拓。平成4年（1992年）、別館『アネックスホテルクドウ』の開業と同時に文義氏が56歳の若さで急逝したため、ミヤ子さんが社長を受け継ぎ、三代目として奮闘してきた。



ビジネス客の利用が多い『ホテルクドウ大分』



終戦直後に創業した木造2階建ての『工藤旅館』

天然温泉を掘り 斬新なリニューアルを敢行

平成23年（2011年）に嫁いだ萌緒さんは、「当時の『ビジネスホテルクドウ』はまるで割烹みたいで驚きました」と笑う。ミヤ子さんのおかげで主に宴会で収益を上げ、公務員を中心に地元の常連客から支持されるホテルだったが、古くなり、リニューアルの話が進んでいた。

「時代が変わりつつあり、若い人の宴会が減ってきていたので、義母は宴会場をなくして宿泊に特化しようと考え、夫は温泉を掘って宴会場は残したいという意見でした。夫は子供の頃から母親の姿を見ていたので、飲食の灯を消したくなかったんですね。私も老舗ホテルが温泉を掘って次の時代に向かうのは面白いと思いました」

結局、若夫婦の意見が通り、温泉を掘削したところ、とろりとした肌触りの良質な温泉が湧出。源泉掛け流しの温泉を目玉に、宴会場も含めて全面リニューアルし、同年11月、『ホテルクドウ大分』として再スタートした。

萌緒さんは義母のもとで若女将として修業しながら、経理業務のデジタル化やネット予約への切り替えに着手。子供2人を出産後はしばらく仕事を休んだが、四代目に



源泉掛け流しの温泉は立ち寄りもでき、毎日通う人も



大分の竹をふんだんに使った和モダンな宴会場

就任していた夫が体調を崩したため復帰。稼働率が下がっていた別館『アネックスホテルクドウ』のリニューアルも手がけた。デザイン性で楽しむホテルにしたいと、大分を拠点に活躍する建築家・光浦高史さんをはじめ、若いクリエイターたちとチームを組んで内装を一新。ミヤ子さんは何事にも前向きに取り組む若女将を信頼し、何でも思い通りにやらせてくれた。2016年秋、名前も一新した『HOTEL910』がオープン。萌緒さんは五代目として社長のバトンを渡された。

「ここがあって助かった」と 言われるサービスを提供したい

社長就任を機に、萌緒さんは女将業でなく労務や経営に専念。経営状況をスタッフに開示して協力を求めると、自分たちで考えて動いてくれるようになった。現在、『ホテルクドウ大分』は男性のビジネス客が中心で、工事現場などの仕事で長期滞在する人も多い。



大分のクリエイターたちがリノベートした『HOTEL910』

「気に入って定宿にしてくださっている方たちにとって、クドウは“おうち”なんです。スタッフとお客さまの距離が近く、気楽に過ごせる。スペックがいいわけではないけれど、それを補うスタッフの力のおかげだと思っています」と萌緒さん。3～4人で泊まれるフロアリングルームを設けたことで、赤ちゃん連れのファミリー客も増えた。一方、デザイン性を重視した『HOTEL910』は女性や若い人が多く、従来にはなかった新たな客層をつかんでいる。

コロナ禍でも常連ビジネス客のおかげで稼働率を維持してきたが、昨春、『ホテルクドウ大分』館内に開いた居酒屋は現在も休業中だ。

「コロナ禍で価値観が一変し、飲食も宿泊もスタイルが変わりつつあります。そんな中でも、初代が来客をもてなしたように、どこかアットホームで、『ここがあって助かったわあ』と言われるようなサービスを提供し続けていければと思っています。今後のことはまだわかりませんが、時代が様変わりして既存の枠にとらわれずにやれるのは、コロナがきっかけだったと感じます」

次は創業100年をめざしたい、と五代目社長はどこまでも明るく前向きだ。

企業データ

会社名	有限会社工藤旅館
代表者	代表取締役 工藤 萌緒
所在地	大分市金池町1-11-6 TEL 097-532-3981
設立	1945年(昭和20年)
資本金	900万円
従業員数	30名
事業内容	ホテル業
URL	https://www.hotel-kudo.com https://www.hotel910.com

先端技術で大分の未来を創る

株式会社大分うにファーム

ムラサキウニの陸上畜養を豊かな漁場回復と
新たな価値創出の足がかりに

代表取締役 栗林正秀 氏

地球温暖化に伴う海水温度の上昇は、今や世界規模の環境問題として広く知られている。かつての生態系は崩れ、生息個体のバランスは狂い、海藻が減少して“磯焼け”を起こした海域での漁業は、水揚げ高の減少が年々深刻化している。自然回復の見込みが非常に薄い磯焼け問題を、人と先進的発想、それに付随するテクノロジーを用いて改善しようと試みる、株式会社大分うにファームの取り組みと将来の展望を伺った。

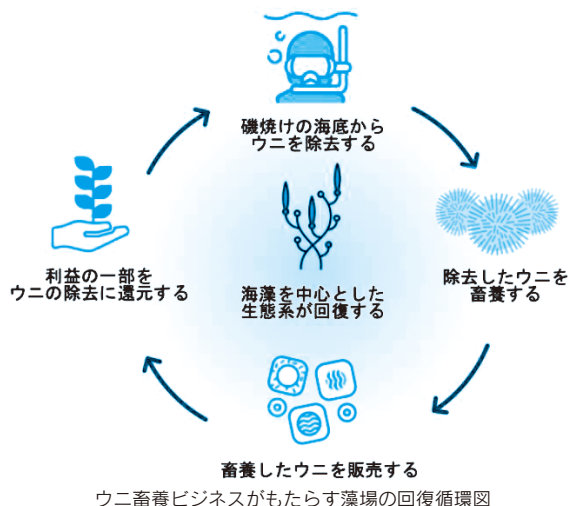
“海の厄介者”となった空ウニに着目し 海洋環境の改善を

過疎化が深刻な国東市の国見に生まれ育った、株式会社大分うにファームの代表取締役栗林正秀さんは、「地の利を生かした仕事を作り、魅力的な価値ある商品を生み出したい」と、2017年から開始したウニ畜養試験を経て、2019年にウニの陸上畜養を実現するためのビジネスプランを立ちあげた。

全国的、世界的にも、漁業を生業とする環境は悪化の一途をたどっている。そして、海温上昇による海洋生物の生息バランスはここ数十年で劇的に変化した。なかでも、生命力が強く、磯の藻をエサにするムラサキウニが大繁殖していることは大きな問題だ。

近海にあふれたムラサキウニは、魚が生息するために必要な海藻を食べつくしてしまい、藻場は危殆に瀕している。しかし、若者は故郷を離れて漁業を継ぐ者も少なく、駆除するのは難しい。可食部がない空のウニを廃棄するのは、費用がかかり生産性もなく、人の手を煩わせるだけの作業だ。

「駆除する目的で回収したムラサキウニを、ただ捨ててしまうのはもったいないですよ。単に環境を保持する目的で補助金など公的資金を投じる現状から、回収したウニを活用する仕組みにシフトできれば、海洋環境の改善を実現するという価値が生まれます。」と栗林さんは言う。



天然×自動化システム×素材価値 海の環境を守る手段に出会って

栗林さんは、国東に戻って漁業権を取得し、10年ほど前にカキの養殖をスタートさせた。近海での管理養殖計画が軌道にのれば生業として成立する、と考えたからだ。

「世界の養殖事情を学ぶために、アメリカ、オーストラリア、ヨーロッパ、中国、韓国と現地へ出向きました。タスマニアでは実際に現場で働かせてもらって、その当時の日本（の養殖方法）がどれほど遅れているのか、思い知らされましたよ。」

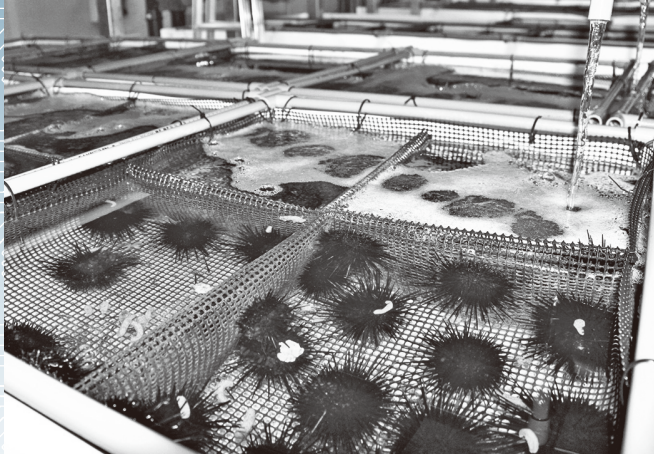
タスマニアのカキ養殖場は海の浅瀬に作られており、丘から出す船に搭載している大型トラクターを使って一気にカキを水揚げする。また、大きさの選別から出荷準備まですべてがオートメーション化されており、どこか農業的な発想を思わせる自動化の仕組みがすでに出来上がっていた。

漁業は“3K（きつい、汚い、危険）色の強い業種”と思われがちだが、養殖現場を効率化し安定した出荷が実現できれば、人件費をあげても適正価格で商品を販売し採算を確保することが可能になる。若者や労働力が不足する故郷のためにも、新たな可能性を考えていかなければいけない、と栗林さんは感じた。

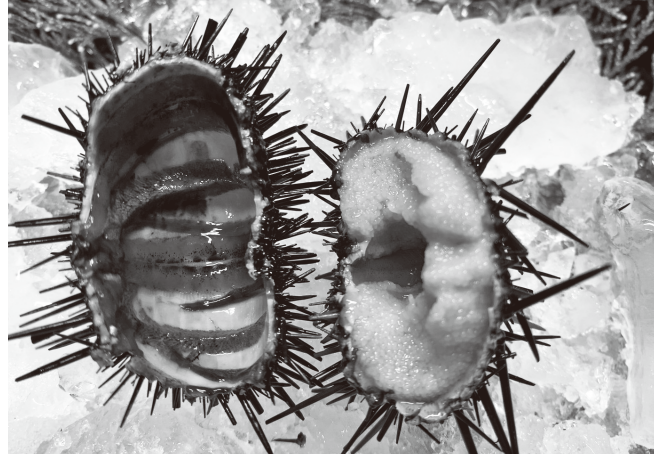
世界のカキ養殖現場を回る中で、世界の養殖事情を知るとともに、たくさんの有識者と出会うきっかけを得た。そして、ノルウェーに本拠を置くウニノミクス株式会社CEO・創立者の武田ブライアン剛氏との出会いによって、先進事業であり実証段階だった“世界初”ウニの陸上畜養商業化の実現に向けて取り組みを開始した。



株式会社大分うにファーム ウニ畜養を事業化し豊後の磯守（ブランド名）を販売



陸上畜養施設で育てられるウニ



左：磯焼けした海から駆除した空ウニ 右：畜養により生育したウニ

世界基準の技術に先進的設備を加え、安定した畜養を実現

ウミノクス株式会社から技術提供を受けて設置した畜養場には、ムラサキウニが身入りするのに最適な環境を備えている。畜養には海水を用いるが、海を汚さないため一度汲み上げた海水を施設内で濾過循環させ、水質と水温をウニの成長に最適な一定基準に保つ仕組みが完備されている。また、近海の海水汚染や不純物などによって、ウニの生育が左右されないというメリットは大きい。

施設内の異常が発生した際は、エラー通知が事務所モニターと各自スマートフォンに届き、検知したエラーを想定してトラブル初動を速やかに行なえるよう警備会社と連携している。

ウニがストレスを感じないように、一定個数を区分けして個体管理する際、目視では見逃しがちな異常や生育不良を監視するため、ハンディカメラで棚の脇を歩きながら撮影し、その画像をオフィスモニターで確認するシステムを近々に導入する。

今後はさらにIoT技術を活用して、エサと生育の管理体制をシステム化し省力化・自動化を進める計画だ。ウミノクス株式会社と協業し、バージョンアップするための試算と見通しはすでに立っている。

「機械に代替できることをわざわざ人が手をかけてする必要はない。人には向き不向きがあるし、ヒューマンエラーを起こさずに一定のクオリティを維持できる装置をあらゆるところに投入すれば、安定した養産が可能になります。」

最先端の技術を駆使することで、2ヶ月ほどで食用として出荷できるほど可食部を十分に増やすことができる。年6回の畜養サイクルで最大18tものウニを大分で育てる目算だ。安定してウニを畜養するために、さらなる先進技術を投じることに對して、栗林さんはとても前向きだ。

テクノロジーが天然漁業の復活の糸口にSDGsの取り組みを“新たな価値”に

「海の保全と同時に、限界集落で人が住み暮らし、生きていくための価値が大切」と考える栗林さんの取り組みは、単に、高級食材とされるウニの身入りを促して安定出荷を目指すことが目的ではない。

商品化すれば、継続して畜養するための空ウニを“仕入れ”ることができる。駆除の対象ではなく取引物として扱うことで、回収がビジネスに変わる。その先に、海藻が増えて磯の生態系を取り戻した海と、天然漁業の復活を見据えたSDGsストーリーも含め、地域と漁師さんにとって新たな仕事と価値創出を実現するためのウニ陸上畜養なのだ。

磯焼けを解消し藻場を増やすことは、地球温暖対策に有効なブルーカーボン（海洋生物の作用によって、大気中から海中へ吸収された二酸化炭素由来の炭素）事業として、今や世界レベルで必要とされている。

ただ、海事情を誰より理解しているのは、地元の漁師や潜水士だ。「漁業に携わる方々の協力は不可欠ですし、漁場を良くするために私どもを上手く利用してもらいたい。新たな価値が生まれることを、多くの人に知ってもらいたいですね。」と期待を込めて栗林さんは語る。

また、ムラサキウニの駆除実証を行なった沿岸では、サザエの漁獲量が増えていると漁師から話を聞いているそうだ。

栗林さん自身、ウミノクス株式会社と出会った2016年頃には「成功したらいいな」というワクワク感に加えて、近い将来に必ず誰かが取組んで解決しなければならない課題であると感じていた。そして、成功すれば磯を豊かにし、地域の活性化に繋がる新しい可能性だと思っていた、という。

「自分たちが作るうとするものに、人の気持ちや生き方は宿る。地方活性化における希望の灯火となり、海洋環境の好転と次世代の先進技術を活用し、循環型ビジネスのロールモデルとして、同じ課題を抱える国内外地域へ広く発信して行きたい。」と栗林さんは意気込む。

企業データ

会社名	株式会社大分うにファーム
代表者	代表取締役 栗林 正秀
所在地	国東市国東町富来浦2744-12 TEL 0978-75-0035
設立	2019年（平成31年）3月
創業	2017年（平成29年）4月
資本金	990万円
社員数	4名
事業内容	農林水産業
URL	https://www.oita-uni-farm.co.jp

おおいたスタートアップセンターいち押し 「おおいた起業家事情」

平成27年に設置された「おおいたスタートアップセンター」
多くの方が、創業や新事業に取り組んでいます。
このコーナーは、おおいたスタートアップセンターが
注目する起業家や、話題に迫ります。

おおいたスタートアップセンター 大分市東春日町17-20 第2ソフィアプラザビル5F 電話: 097-534-2755
E-mail: startup@columbus.or.jp HP: https://startup.oita.jp

今月の注目起業家は

令和2年8月 大分県の起業支援補助金を活用し、配達飲食サービス業を起業した熊谷晋一郎（40歳）さんです！

配食のふれ愛大分南店
代表 熊谷 晋一郎

所在地 ●大分市大字野津原751番地の1 (〒870-1203)

営業時間 ●8時～18時 (定休日は日曜日 ※正月三が日は休み)

電話 ●097-511-2071

F A X ●097-511-1891

H P ●http://www.h-fureai.com/

今回ご紹介する起業家は大分市野津原で「配食のふれ愛大分南店」(フランチャイズチェーン)を開業した熊谷晋一郎さんです。熊谷晋一郎さんは大手飲料メーカーに17年間勤務したのち、疾病予防や健康増進を指導する会社へ転職。持ち前の営業スキルと人脈、また、健診事業の専門知識を活かし、令和2年8月に居住地の野津原地区に事業所を立ち上げ、高齢者の健康維持、買い物代行並びに見守り機能を兼ね備えた配達飲食サービス業を起業しました。配達エリアは、野津原、植田、南大分、賀来、挟間地区など大分市南西部を中心に活動しています。なお、起業にあたっては「大分県地域課題解決型起業支援補助金」を活用。今回は、創立1周年を迎え、これまでの苦労や喜びを何うとともに、今後の展望についてお尋ねしました。



配食のふれ愛大分南店
8月に1周年を迎える

■“配食のふれ愛”大分南店とは

“配食のふれ愛”は、高齢者向け配食サービスをフランチャイズ方式で全国展開する(株)シルバーライフ(本社：東京都、東証一部上場)のブランド名であり、令和3年7月現在で全国381店が加盟しています。電話またはFAXで気軽に注文でき、栄養バランスやカロリー計算もしっかりされており、



ふれ愛小町
(きざみ方など食べやすさを調整)



普通食
(八宝菜)

お求めやすい手頃な価格(360円～800円：税抜)で昼と夜の食事を配達。メニューも、日替わりでお客様の体調や健康状態に合わせて選べる仕組みとなっています。また、安否確認サービス(無料)もあり、弁当をお届けした際にご家族等に通知するシステムもございます。

■起業から1周年をふり返り

当店もお陰様で8月7日を以って創立1周年を迎えることができました。振り返れば、起業当初は、作業場の建設、設備の導入、許認可の申請、DMやパンフレットの作成、帳簿組織の構築、補助金交付書類の作成や顧客開拓訪問など、昼夜を問わず孤軍奮闘したことが思い出されます。

起業して4か月後の12月に、大分市の65歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯などで、身体的な衰えなどにより調理をすることが困難な世帯に安否確認を兼ねて1食400円で食事を提供する「大分市食の自立支援事業」の指定業者に認定されたことで信用力が上がり、注文数が大幅に増加。1日に100食を超える日もあり、安定した利益の確保に繋がっています。お陰様で、20代～70代のスタッフ13名(パート：男性1、女性12)を雇用することができ、人に恵まれた環境で仕事ができていることが、私にとって何よりの励みとなっています。



■今後の展望について

フランチャイズ事業の“配食のふれ愛”については、注文数を現在の1.5倍程度を目標に今後も地道な営業活動を続けて参ります。新たな展望としては、フランチャイズ事業とは別に、障がい者就労支援施設向けに昼食提供事業を始めたいと思います。既に2施設から委託を受けており、施設の調理場を使用し、昼食の調理を行っており、今後も受託先を増やしていきたいと考えます。また、野津原には至るところに田畑がありますので、これをお借りし、調理に使う野菜の生産や収穫された農産物を使用した加工食品の開発にも挑戦してみたいと思っています。野津原の豊かな自然環境を活かした加工食品の開発によって、知名度の向上や地域活性化ひいては食を通じて農業と福祉の連携を進めていきたいと考えております。

大分県よろず支援拠点 支援事例

事例 1

ゆめカンパニー (雑貨販売業・子ども食堂運営 宇佐市)

住所 ■宇佐市上田420 電話 ■070-1529-3733 H P ■<https://yume411.jimdofree.com/> (吉良CO、堀CO、二宮CO、池田CO 担当)

■相談内容■

3人の子育て中の忙しい主婦でも可能なビジネスとして、ガチャガチャマシンを店舗等に設置するプランを思いついたと相談にいられた。その4か月後には事業を始められ、事業経費の取扱いや、確定申告の具体的方法など相談があった。

■課題の整理・分析(強みの発見)■

これまで営業や交渉等のビジネスの経験があり、機器の導入コストも調査済み。今後、法人化も視野に入れて活動したいと事業意欲が豊富で行動力がある。

■提案内容■

機器設置の委託先の開拓を行うことや関連するアイデアを検討することを提案した。また、宇佐市の創業補助金制度および宇佐市創業塾の活用等をお勧めした。さらに、営業のためのツールや顧客ターゲットの選定などの情報を提供、事業経費の取扱いや確定申告の方法など、事業の進展にあわせた支援を行った。



店長の古藤裕理笑さんと活動の拠点となる新店舗「ゆめカフェ・モンスターの学校」



子どもたちに大人気のお菓子類



移動販売型ガチャの「ガチャくる号」

成果(相談者の声)

宇佐市創業塾や女性起業家支援事業へ参加し、ビジネスプランを深掘りする中で、ガチャガチャの移動販売車の設置や、満足に食べられない子供たちの存在とフードロスの社会的課題の解決にガチャガチャを活用する「寄付ガチャ制度」につながりました。

活動の拠点となる「ゆめカフェ」や寄付ガチャ制度を導入した共同運営型の子ども食堂「モンスターのがっこう」の設置ができました。

今後は、支援していただける方と連携をさらに強化する仕組みを作り、子どもたちが気軽に遊びに来られる居場所を提供し、ガチャガチャを通して多くの幸せにつながりたいと考えています。

事例 2

株式会社マルナカフーズ (食品製造・卸 日田市)

住所 ■日田市大字大肥大鶴町3018 電話 ■0973-28-2300 H P ■<http://www.marunaka.bz/> (木許CO 担当)

■相談内容■

- ・コロナ禍による売上の減少を何とかしたい。
- ・新規の販路開拓をしたい。
- ・新製品の鮎釜飯の販路拡大をしたい。

■課題の整理・分析(強みの発見)■

- ・レトルト加工機械を持っており、自社でレトルト加工ができる。また他社の商品の外注を受けることが可能である。
- ・営業活動は社長一人なので、十分な営業ができない。

■提案内容■

- ・新規採用の可能性のある取引先を提案。
- ・新旧商品をセットにして中元、歳暮対応ギフトの開発を支援。
- ・他社からのレトルト加工の発注を受ける事をアドバイス。



商品群



代表取締役の森山美智子さん



製造風景

成果(相談者の声)

ギフトセットを作り、地元百貨店のギフトに採用され、売上げを上げる事ができました。

コーディネーターから提案された取引先に商品が採用され、特注の商品製造も受注しました。また有名な旅館のお土産店に採用され定期的に注文を頂いています。

さらに、地元百貨店や有名旅館で弊社商品が採用され、営業トークにも使わせていただいています。

県内のメーカーとのレトルト商品の開発なども手掛けさせていただき助かっています。

いろんなジャンルの
専門家が！

中小企業診断士 税理士 社会保険労務士 IT・WEBサービス 金融 広告戦略 デザイナー
イラストレーター 知的財産 販路開拓 マーケティング 税務 経営戦略 労務管理

お問い合わせ、お申込みはこちらまで！



中小企業・小規模事業者のための無料経営相談所
大分県よろず支援拠点
TEL 097-537-2837
FAX 097-534-4320

■営業時間 8:30~17:30 (月~金曜、土日、祝日)
■電話受付 月曜日~金曜日 (祝日等を除く)
■ホームページ <https://www.yorozu-oita.com/>
■Facebook <https://www.facebook.com/oitayorozu/>

クリエイターと協働して新たな視点で経営を考えませんか？ (中小企業のためのクリエイティブ活用セミナー)

デザイナー、建築家、プロデューサー等のクリエイターと協働し、課題解決や新たな事業展開に取り組む事例が増えています。

本セミナーでは、経営におけるクリエイティブの価値や全国の中小企業の活用事例について紹介します。参加費無料で、個別相談もできますので、ぜひご参加ください。

【日時場所】 ※いずれも時間は14:30~16:15 要事前予約、人数に達し次第受付終了

- ・11月17日(水) 臼杵会場(臼杵市民会館)
- ・11月18日(木) 豊後大野会場(エイトピアおおの)
- ・12月1日(水) 佐伯会場(さいき城山桜ホール)
- ・12月2日(木) 日出会場(日出町中央公民館)



【お問い合わせ】

NPO法人 BEPPU PROJECT TEL: 0977-22-3560

優秀な特許案件を出願した中小企業を顕彰します！ (特許チャレンジコンテスト)

県では、知的財産の創出を促進し、産業競争力の強化を図るため、優秀な特許案件を出願した中小企業等を顕彰し、最大4件に賞金20万円を交付しています。

令和3年1月1日から12月31日までに特許庁に出願を完了した国内の特許案件が対象となりますので、ぜひご応募ください。

【応募資格】

- ・中小企業基本法第2条第1項の各号に該当する中小企業者のうち、県内に主たる事業所もしくは研究開発部門を有するもの
- ・県内の大学、高専、短大、専門学校、高校

【応募期限】

令和4年1月21日(金)

【お問い合わせ】

大分県商工観光労働部 新産業振興室 TEL: 097-506-3272



～大分県立図書館～ 今月の新着図書

県立図書館では、ビジネスパーソンを応援するために、企業、経営等に役立つ実用書や雑誌を集めた「仕事とくらしの情報コーナー」を設置しています。ぜひご利用ください！



『LGBT はじめての労務管理対応 マニュアル』
実際の相談例をもとに解説!

森 伸恵 / 著 労働調査会 1,700円+税

LGBT含む性的マイノリティの人権を守るため、企業の意識の変革が求められています。当事者の抱える悩みはどんなものか、企業側にはどんな対応が求められているのか、具体的な例を挙げながら解説しています。

『業種別業界情報 2021年版』

中小企業動向調査会 / 編著 経営情報出版社
22,381円+税

『DXの教養 デジタル時代に求められる実践的知識』

志度 昌宏 / 著
三菱ケミカルホールディングス先端技術・事業開発室DXグループ / 著
インプレス 1,800円+税

『外国人雇用の実務 第3版』

近藤 秀将 / 著 中央経済社 3,800円+税

『社長、その事業承継のプランでは、会社がつぶれます』

島田 直行 / 著 プレジデント社 1,600円+税

【お問合せ】 大分県立図書館 調査相談担当 TEL: 097-546-9971 <https://www.oita-library.jp/> (蔵書検索ができます)

経営革新計画 承認企業の紹介

株式会社ローマ

テーマ：低価格で様々なエステを行えるセルフエステサービス

【概要】「低価格で様々なエステを行えるセルフエステサービス」を実施する。利用者が自分で施術を行うセルフエステの形式を取ることで、従来のエステサロンで多くの女性が感じていた、価格・施術時間・プライバシー等の問題点を克服することができる。また忙しい女性には、店内で利用者一人ひとりの美容状況に合わせた基礎化粧品も行うため、忙しくても自宅でケアができる。



代表者コメント より多くの女性に自由に幅広い美容法を実践していただくため、専用の美容機器を取り揃えた個室の中で、セルフでエステを行うサービスを行っております。さらに、一人ひとりの美容状況に合わせた基礎化粧品の提案も行うことで、忙しくて頻繁に通えない女性でも自宅ですっきりとしたケアを行えるようサポートしています。低価格でエステを行い、施術時間も自分で調整することができますので、忙しい女性の方でも通い続けやすい環境です。

株式会社ローマ

代表取締役 松尾 龍

〒870-1105 大分市敷戸南町4-10

TEL 097-535-7901 FAX 097-535-7905

<https://jinzai.co.jp/>

経営革新計画 承認企業の紹介

有限会社岩見商事

テーマ：お肌が変わる！？きらめき温泉美容コスメの開発と販売

【概要】既存事業である土産物の卸が時代の変化により縮小する中、今後中核を担っていく新規事業として化粧品の開発や通信販売に取り組んでいる。別府温泉の魅力を、温泉に入るだけでなく、美肌になり美容素材として広く知ってもらうために、別府温泉水の効果を調べ、別府温泉水を配合した化粧品ブランド「ゆーらほ」を立ち上げ、効果のある量の温泉水、美肌成分を配合し【Beppu】シリーズの化粧品を作り上げた。



大地のミネラルたっぷりのBeppu温泉を輝きのある肌に導く化粧品に！

代表者コメント 弊社は50年以上総合観光卸売業としてお客様の旅の思い出と感動を呼び起こさせる商品をとという信念のもと、土産商品を提供してまいりました。別府温泉という土地柄2020年、温泉を通して別府の素晴らしさを体感して頂ける化粧品ブランド【ゆーらほ Beppuシリーズ】を販売開始しました。別府温泉のパワーを詰め込んだ、お客様のための温泉スキンケアに仕上がっています。大分県内各土産店、WEBショップで好評発売中です。

有限会社岩見商事

代表取締役 多田 昭文

〒874-0931 別府市西野口6-5

TEL 0977-25-3353 FAX 0977-25-3373

<https://www.iwami-s.jp>



経営革新計画を策定しませんか！



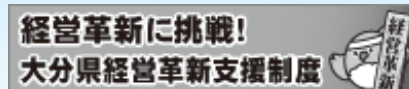
経営革新計画は、中小企業が「新事業活動」に取り組み、「経営の相当程度の向上」を図ることを目的に策定する中期的な経営計画書です。

計画策定を通して現状の課題や目標が明確になるなどの効果が期待できるほか、計画が承認されると様々な支援策の対象となります。

詳しくは下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

大分県産業創造機構 経営支援課 (大津)



TEL 097-537-9111

11月は下請取引適正化推進月間です

令和3年度下請取引適正化推進月間キャンペーン標語

トラブルの未然防止に 発注書面

11月は下請取引適正化推進月間です。全国において、下請取引適正化推進講習会（参加費無料）を開催（オンラインによる非対面方式）するほか、公正取引委員会（本局及び地方事務所等）や中小企業庁及び経済産業省の地方経済産業局等で、下請取引に関する相談等にも応じています。詳しくは次の連絡先にお問い合わせください。

<p>公正取引委員会 不当なしわ寄せに関する下請相談窓口 フリーダイヤル 0120-060-110 【受付時間】 10:00～17:00（土日祝日・年末年始を除く。） （ホームページ https://www.jftc.go.jp/）</p>	<p>中小企業庁 事業環境部取引課 03-3501-1732 （ホームページ https://www.chusho.meti.go.jp/）</p>
<p>北海道事務所 011-231-6300 東北事務所 022-225-8420 取引部企業取引課 03-3581-3375 中部事務所 052-961-9424 近畿中国四国事務所 06-6941-2176 中国支所 082-228-1501 四国支所 087-811-1758 九州事務所 092-431-6032 沖縄総合事務局総務部公正取引室 098-866-0049</p>	<p>北海道経済産業局 011-700-2251 東北経済産業局 022-221-4922 関東経済産業局 048-600-0325 中部経済産業局 052-589-0170 近畿経済産業局 06-6966-6037 中国経済産業局 082-224-5745 四国経済産業局 087-883-6423 九州経済産業局 092-482-5450 沖縄総合事務局経済産業部 098-866-1755</p>

下請取引については、「下請代金支払遅延等防止法」や「下請中小企業振興法」による振興基準において、親事業者（発注者）の義務や禁止行為のルールなどが定められています。公正取引委員会及び中小企業庁では、定期的に下請取引の実態を調査し、下請取引適正化のための指導を行っています。

下請代金支払遅延等防止法

【親事業者の義務】

- 取引条件等を記載した注文書の交付
- 下請取引に関する事項を記載した書類の作成と保存
- 下請代金の支払期日を定めること
- 遅延利息の支払

【親事業者の禁止行為】

- 受領拒否
- 下請代金の支払遅延
- 下請代金の減額
- 返品
- 買ったたき
- 物の購入強制・役務の利用強制
- 報復措置
- 有償支給原材料等の対価の早期決済
- 割引困難な手形の交付
- 不当な経済上の利益の提供要請
- 不当な給付内容の変更・やり直し

下請中小企業振興法

【振興基準】

- 下請事業者の生産性の向上、品質・性能の改善
- 発注内容の明確化、発注方法の改善
- 下請事業者の施設・設備の導入、技術の向上、事業の共同化
- 対価の決定方法、納品の検査の方法その他取引条件の改善
- 下請事業者の連携の推進
- 下請事業者の自主的な事業の運営の推進
- 下請取引に係る紛争の解決の促進
- その他下請中小企業の振興のため必要な事項（下請ガイドラインや自主行動計画に基づく業種特性に応じた取組、知的財産の取扱いについて等）

ネット集客のキモを公開中

- ☑ ネットショップの売上 UP ↑
- ☑ 会社 HP の問い合わせ UP ↑
- ☑ 専門用語もやさしく解説。

大分地域密着型ウェブコンサルティング
株式会社 シャーロック

<https://sherlocks.co.jp/seo/>



今すぐメルマガ登録

SHIRAHA

ハローワークの求人番号で
本格的な採用サイトが作れる



無料のお試しはこちら



<https://shiraha.jp>

求人・採用に関するお困りごとはなんでも!

☎ 050-3492-7333 ✉ info@shiraha.jp

運営会社：株式会社 HAB&Co.

〒870-0026 大分県大分市金池町 2-1-8 DB ビル 202

広告主募集

広報誌を事業活動にご活用ください。

サイズ：縦7.5cm×横18.0cm

詳細につきましてはお電話にてご相談ください。

お問い合わせ先：大分県産業創造機構 総務企画課
TEL 097-534-4702 FAX 097-538-8407

事業者のみなさまへ 「二次的被害」をご存じですか？

県内でも様々な犯罪が発生しており、誰もが被害者となる可能性があります。
大切な従業員やそのご家族が、いつ犯罪に巻き込まれるかわかりません。
犯罪による直接的な被害のみならず二次的被害^(※)により、多くの困難に直面して
いる従業員等に対し、できることを考えてみませんか。

※「二次的被害」とは、犯罪による直接的な被害を受けた後に、周囲の無理解や心ない言動、インターネットを通じて行われる誹謗中傷等により、犯罪被害者等が受ける精神的な苦痛、身体の不調、私生活の侵害、経済的な損失等の被害をいいます。

職場内で起こる二次的被害の例は・・・

- ・「頑張ってね」「早く元気になってね」等、良かれと思った声かけが逆に被害者の精神的負担となります
- ・警察の事情聴取等でお休みが増える被害者に対し、その代わりに出勤等をお願いすることが被害者の心身の疲労となります

事業者のみなさまにできることは・・・

- 仕事上での配慮を十分にしましょう
- 偏見を持つことはやめましょう
- 休暇制度について理解を深めましょう



犯罪被害者等支援シンボルマーク
「ギョットちゃん」

犯罪被害者やそのご家族・ご遺族の苦しみが和らぐよう、
一人ひとりが理解し、社会全体で支え合っていきましょう。

※犯罪被害者等支援についての相談窓口があります。詳しくは折込のリーフレットをご覧ください。

大分県犯罪被害者等支援条例では、事業者の責務として、犯罪被害者等が置かれている状況及び支援の必要性について理解を深めること、事業活動を行うに当たっては、二次的被害が生じることのないよう十分配慮することと定めています。

大分県県民生活・男女共同参画課

(大分県消費生活・男女共同参画プラザ)

TEL 097-534-2062

〒870-0037 大分市東春日町1番1号 NS大分ビル内